

(別紙2)

令和7年度「京都未来人材育成プロジェクト事業」コーディネート業務委託に係る企画提案書作成要領

1 企画提案書の作成方法

- (1) A4版・横書きとする。(図表等は必要に応じ、A3版折込みも可。)
- (2) 文章を補完するための写真・イラストなどの使用は可とする。
- (3) 企画提案書には、極力、専門用語は使用しないこと。
- (4) 「2 企画提案書の記載内容」の項目順に沿った記載とすること。

2 企画提案書の記載内容

(1) 事業の管理

ア 運営体制(事業別配置人数、指揮監督のあり方、等)を具体的に記載すること。

イ 事業の業務別の行程(業務完了に至るまでの過程)及び実施手法を具体的に記載すること。

(2) 企画提案内容

以下の全ての事業内容について、業界の状況や課題を分析した上で事業の実施方法等を記載すること。

また、企画に当たって創意工夫した点があれば併せて記載すること。

(各項目A4用紙5枚程度とする)

ア 大学・学生及び地域・企業の募集

(別紙仕様書 4の(1)ア関連)

本事業は「大学・短期大学(以下「大学等」という。))と学生が提供できる課題解決能力」と「大学等・学生の知と力により解決したい課題を持つ地域・企業」との受給バランスを満たしたマッチングを行うことが重要であるが、そのためには、事業に参加する大学等・学生や地域・企業の数が多いことが望ましい。

そのため、大学等・学生の希望と地域・企業とのニーズを的確に把握する手法や、より多くの参加が実現できる手法の提案、これらのことを実現するに足る知見・実績等の提示をすること。

イ 大学等・学生と地域・企業とのマッチング

(別紙仕様書 4の(1)イ関連)

本事業においては、「大学等・学生が提供できる課題解決能力」と「大学等・学生の知と力により解決したい課題を持つ地域・企業」とのマッチングが重要であるが、行われたマッチングが、双方にとって有意義なものであることが必要であり、実現するための知見や実績があることが望ましい。

そのため、適切なマッチングにつなげるための手法について提案をするとともに、実現に繋げるための知見・実績等を示すこと。

【目標数】

- ・ 補助事業への大学等からの申請件数 35件以上

ウ 学生プロジェクトの企画・運営

(別紙仕様書 4の(2)ア、イ関連)

本事業においては、意欲のある学生を公募して学生プロジェクトを編成し、地域・企業の課題解決を行う部門があるが、学生プロジェクトは大学の枠を超えてメンバーを集めることから、学生プロジェクトの統率やコーディネートが重要である。

そのため、学生プロジェクトを適切にコーディネートし、ゴールに導いていくための提案をすること。

【特記事項の例】

- ・ 大学や学生プロジェクトに対する寄り添い支援の手法

【目標数】

- ・ 学生プロジェクトの編成 10チーム以上

(3) その他

その他特記事項について具体的に記載すること。

【特記事項の例】

- ・ 本業務と同種・類似業務の実績
- ・ 京都府内の本店、支店又は営業所等の有無
- ・ 子育て支援、ワーク・ライフ・バランス等の認定状況
(詳細「落札者決定基準別表」参照)